

慶應義塾大学 文学部 日本史 解答例

I

(イ)A. 3 B. 6 C. 1 D. 2 E. 9

(ロ)F. 0 G. 5 H. 6 I. 2 J. 3

(ハ)K. 9 L. 5 M. 8 N. 2 O. 4

(ニ)P. 5 Q. 6 R. 7

II

(イ)A. 3 B. 4 C. 1 D. 2 E. 4

(ロ)F. 5 G. 1 H. 3 I. 2 J. 5

(ハ)K. 1 L. 4 M. 3 N. 5 O. 2 P. 4

III

A. 統帥 B. 軍人勅諭 C. 樺山資紀 D. 寺内正毅 E. ウィルソン F. 三・一独立
G. 原敬 H. 齋藤実

IV

1. 後白河上皇 2. 東大寺 3. 平清盛 4. 目代 5. 草戸千軒町 6. 大江広元
7. 代銭納 8. さいふ 9. 盟神探湯

10. 荘園制の成立により、年貢や公事の積出港として港町が発達した。荘園領主の多くは京都在住であり、年貢や公事を京都に送る必要があったため、水上輸送が発展し、問丸などの商人の活動や貨幣の流通も盛んになった。(99字)

V

1. 徳川吉宗 2. 年季 3. 検見 4. 百姓 5. 田中丘隅 6. 参勤交代

7. 以前は年貢の割合を調査・決定する度に、年貢の割合が上昇していた。農民も年貢の割合の変更の度にそれが上がるもの思っていた。しかし、今後は相応の年貢の割合に達している村は、それを上げる必要はないとした。(99字)